

経営比較分析表（令和5年度決算）

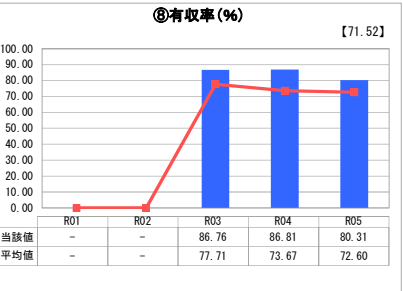
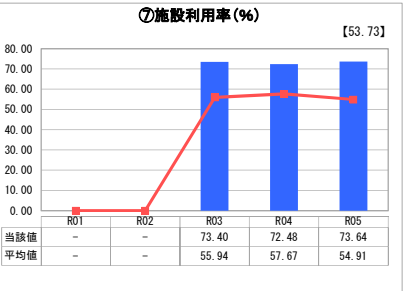
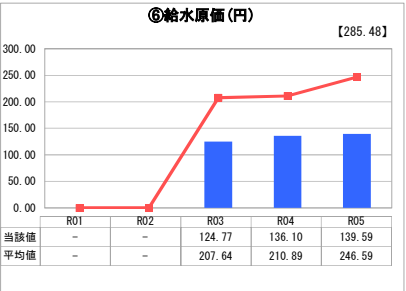
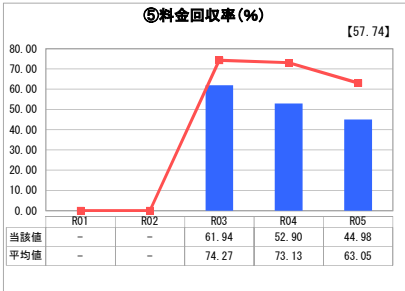
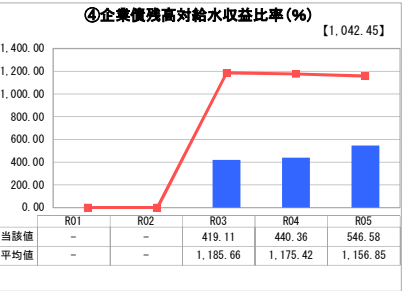
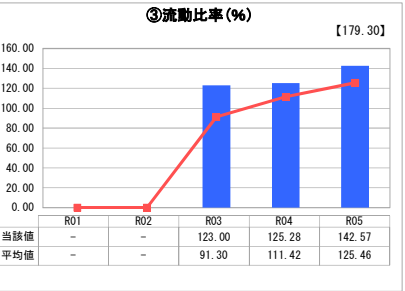
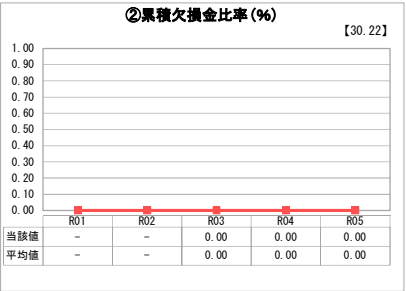
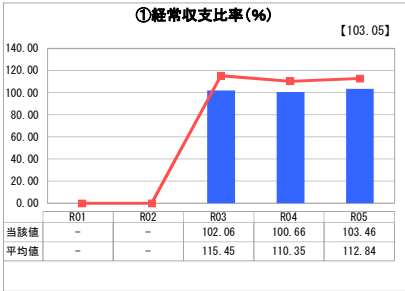
群馬県 沼田市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	簡易水道事業	C1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	63.97	43.72	1,540	

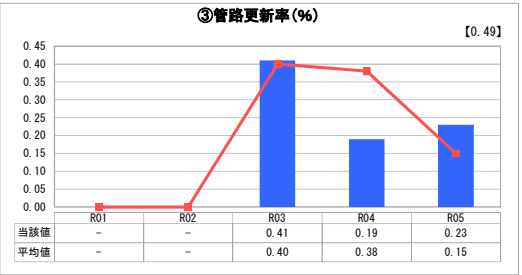
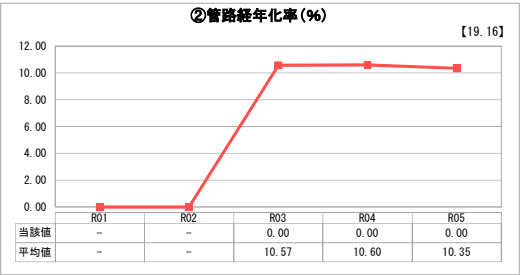
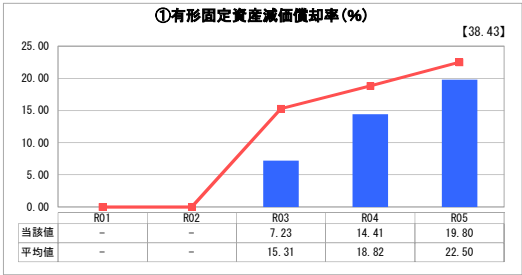
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
44,361	443.46	100.03
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
19,258	197.70	97.41

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ① 100%は超えているものの、営業外収益に占める一般会計繰入金の割合が高いのが現状である。経営規模に比べ給水区域面積が広大であり、維持管理に多額の費用を要することからも、施設の老朽化による更新需要に備え、引き続き収入の確保と支出の削減に努める必要がある。
- ② 0%であり、発生していない。
- ③ 100%を上回っているが、企業債の借入額の増加が見込まれるため、数値を悪化させない経営努力が必要となる。
- ④ 類似団体平均値との比較では低い水準にあるが、老朽化した施設や管路の更新による企業債の借入が見込まれるため、今後も増加が予想される。企業債の新規借入を抑制するとともに、使用料収入の確保に努めていく必要がある。
- ⑤ 昨年度に引き続き水道基本料金減免を実施したため給水収益が減少しさらに数値が悪化した。類似団体平均より低い数値であることには変わりないため、回収率を改善するための経営努力が求められる。
- ⑥ 類似団体の平均値より低い水準ではあるものの、供給単価よりも高い数値であることから、維持管理費用の削減や老朽化した管路の更新により有収率の向上を図る必要がある。
- ⑦ 70%台であり、類似団体の平均値より高い状況である。全体として見れば施設規模と供給需要がバランスのとれた状態であるが、個々の簡易水道区域によりばらつきがあるため、施設更新の際は給水人口に応じた規模で検討する必要がある。

2. 老朽化の状況について

- ① 類似団体より低い水準ではあるが、実態としては老朽化した施設が存在しており、今後も増加する見込みであるため、計画的な施設更新を図っていく必要がある。
- ② 類似団体より低い水準ではあるが、老朽化による漏水が年々増加している。財政バランスを考慮し耐震化も含めた計画的な施設更新を図っていく必要がある。
- ③ かなり低い水準であるため、今後は老朽化更新計画を立てた上で管路更新を積極的に進める必要がある。

全体総括

経営指標数値については、改善等は見られておらず、類似団体との比較でも低調な項目もある。これは、一般会計繰入金への依存度が高く、また、費用削減の効率化が不十分であることに起因している。そのため、維持管理費の見直しを中心に、より一層の経営改善を図る必要がある。

また、施設や管路の老朽化対策が急務となっている。令和7年度には経営戦略の見直しを予定している。適切な投資計画や施設・管路の更新計画、使用料体系の見直しを検討を行う予定である。